

経営比較分析表（令和2年度決算）

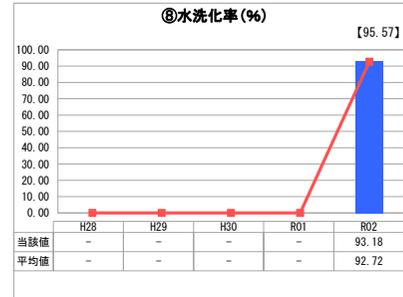
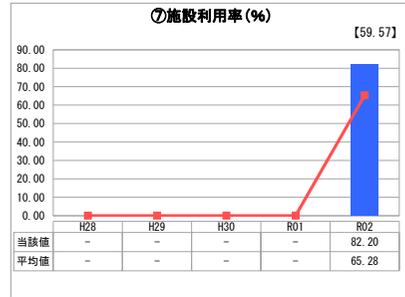
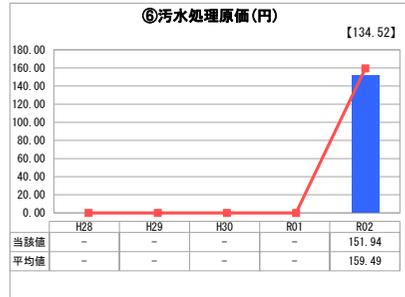
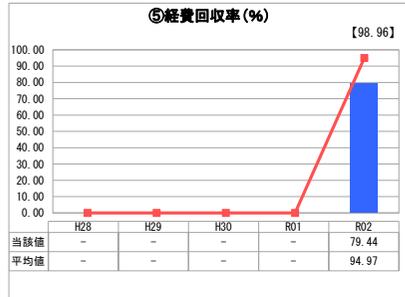
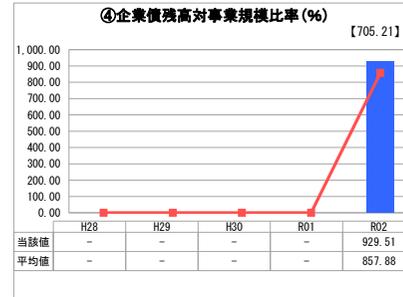
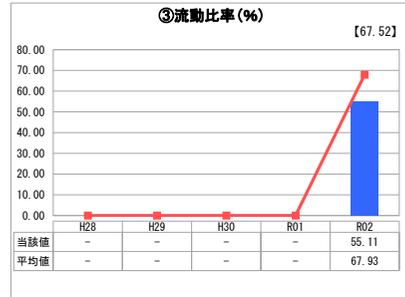
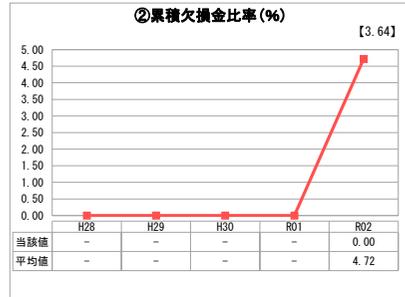
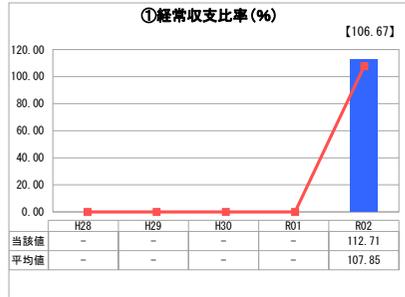
栃木県 佐野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	66.65	68.76	59.75	2,200

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
117,358	356.04	329.62
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
80,434	27.80	2,893.31

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

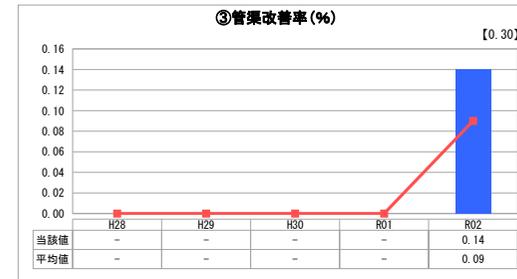
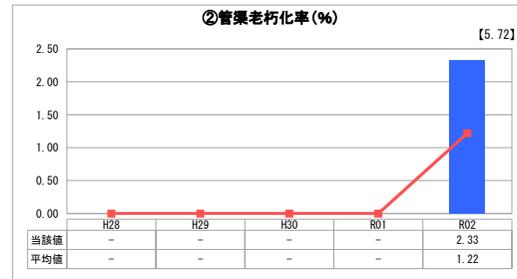
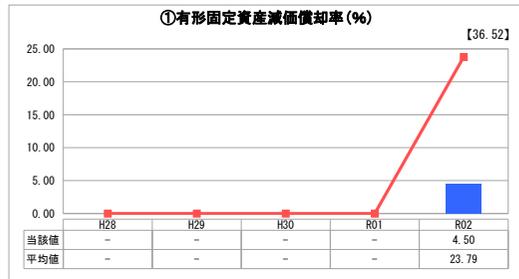


分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、112.7%と類似団体や全国平均より高くなっている。
 ②累積欠損金比率は、存在していない。
 ③流動比率は、類似団体や全国平均より低い。
 ④企業債残高対事業規模比率は、使用料収入の約9倍の企業債残高があることを示し、類似団体や全国平均より高くなっている。
 ⑤経費回収率は、類似団体や全国平均より低く使用料で回収すべき経費を使用料で賄えていない状況である。
 ⑥汚水処理原価は、1m³当たり約152円で、類似団体より低く全国平均より高い。
 ⑦施設利用率は、類似団体や全国平均より高い状況である。
 ⑧水洗化率は、類似団体より高く全国平均より低い状況となっている。
 経営の健全性・効率性は、③～⑥の指標から見るとやや低い状況にあると考えられる。

2. 老朽化の状況



2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、令和2年度が法適用初年度のため類似団体や全国平均との比較は困難である。
 ②管渠老朽化率は、類似団体より高いが全国平均より低い状況である。
 ③管渠改善率は、類似団体より高いが全国平均より低い状況である。

全体総括

将来に渡り持続的な下水道事業を経営していくために使用料収入を確保するとともに、効率的な公共下水道整備を行いながら、施設の改良(更新・長寿命化等)を併せて行う必要があると考える。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。